

平成28年度 事業計画書

特別養護老人ホーム 大慈智音園

1. ≪平成28年度法人ヴィジョン≫

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. ≪大慈智音園基本方針≫

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、入居者一人一人の意思及び人格を尊重し、入居者の居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が継続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるサービスを提供する。

3. ≪最終目標≫

心・和み・笑顔 ～私達が将来入居したい施設を目指します～

「いつでも前向き」「私はあなたで、あなたは私」「共に楽しみ、共に笑う」

- ・全ての人々の心を大切にします
- ・全ての人々の和を大切にします
- ・全ての人々が笑顔になれる場所にします

4. ≪ケア部門≫

- ①報告、連絡、相談の徹底
 - A) 職員一人ひとりが、報連相の重要性を理解する。
 - B) 報連相の徹底が図れるツールを見直し、常に良いものに更新していく。
- ②接遇(コミュニケーション能力)の向上
 - A) ユマニチュードにおける研修の実施
- ③生活の場としての環境整備
 - A) 家具の配置
 - B) 季節に応じた飾りの設置
- ④ご家族との交流
 - A) ご家族参加型の行事の開催
- ⑤遠藤メソッドの導入

5. ≪経営部門≫

- ①充足率の向上(目標：充足率95%)
 - A) 入居検討委員会の定期開催
 - B) 入院ベッドの活用
 - C) 居宅介護支援事業所のケアマネージャーへの働きかけ※上記3項目をスムーズに稼働させるシステム構築
- ②加算取得
 - A) 加算取得の拡大を念頭に介護職員の研修参加(認知症専門ケア加算)

6. <<相談援助部門>>

①ご家族の言葉・思いの収集と検討

- A) 意見箱の設置
- B) 「苦情・相談対処報告書」の提出件数の増加
- C) サービス向上委員会の定期開催

7. <<看護部門>>

<目標>

『ゲストが健康で穏やかな生活が送れるように支援していく』

- ①体調、精神面で安心して落ち着いて過ごしていただけるように嘱託医師と連絡をとる
- ②変化のあったゲストについては医師に報告、相談し指示を受け対応する
- ③他科受診が必要なゲスト様の受診がスムーズに行なえるように努める

<年間業務>

月	項目	内容
4月	ゲスト定期検診	胸部X線、採血
6月	全職員定期検診	胸部X線、採血、検尿、検便、心電図、腰椎X線（CWのみ）等
10月	全職員	インフルエンザ予防接種
11月	ゲスト	インフルエンザ予防接種
	ゲスト・介護職員定期検診	胸部X線、採血等

8. <<栄養科>>

①栄養ケア計画・経口維持計画のシステムを構築する

- A) 計画を共有し、他職種と情報交換を行う
- B) 計画の実施状況をモニタリングし、次回のプランにつなげる
- C) 担当委員より各フロアへ情報発信を行う場を作る
- D) 歯科医との密な連携

②食事形態について理解を深め、個々のゲストに合った食事提供を行う

- A) 食事形態（常食・ソフト食・スルー食・ミキサーゼリー食・ミキサーペースト食・流動食）の内容の理解を深める
- B) 個々のゲストに合った食事を選定し提供を行う

③食事のニーズを把握する

- A) 食に関するニーズを抽出する
- B) ゲストのニーズに沿った行事の立案・実施

<季節行事予定>

月	行事食
4月	花見
5月	母の日
6月	父の日
7月	七夕
8月	夏祭り
9月	敬老
10月	おいしい肉の日
11月	刺身盛り合わせ
12月	冬至 クリスマスランチ ケーキ作り 年越し蕎麦

1月	おせち 七草粥 鏡開き(餅つき・ぜんざい)
2月	節分 バレンタインデー
3月	おいしい肉の日

9. <大慈智音園の特徴>

①入浴

A) リフト浴 (週2回) →家庭用の浴槽を使用し、浴槽へのまたぎができない方、寝たきりの方でもリフトを使用し安心して入浴できる。

B) 一般浴 (週2回) →主に自立歩行者を対象とし、家庭用の浴槽で入居前と同じように入浴できる。

☆ゲスト個々の状態に合わせた入浴形態を考案・実施する。

②排泄

A) トイレ誘導→オムツ外しを積極的に行い、ゲスト個々の尿間隔に合わせた援助を行う。

B) オムツ交換→定時4回交換実施。排泄アセスメントから個々の尿量に合わせてオムツの種類を決定し、個別援助を行う。

☆ゲスト個々の状態に合わせて随時サービスを考案・実施する。

③食事

A) リビングで食べて頂く事を基本とし、ゲスト個々の状態に応じて、ソフト食・スルー食等を提供する。

B) 可能な限り入居前の食事時間、入居者の希望する時間に提供する。

C) 四季を感じる行事食を実施する。

④生きがい作り

A) ご家族との交流の場を提供する (家族食事会等)。

B) 四季を感じる行事食を実施する。

C) ゲスト対ゲストの関わりを通じ、より良い関係性の構築を図る。

D) 地域との交流を促進する。

⑤機能回復訓練

A) 機能回復訓練士が、随時リハビリを行う。

B) 機能回復訓練士の指導のもと、生活リハビリを行う。

C) 生活リハビリを積極的に行いADLの維持・向上を目指す。

D) 食事は、リビングにて食べて頂く事を基本とし、離床を促す。

10. <衛生>

害虫駆除 (年2回)、口腔ケア (毎食後)、寝具交換 (週1回)

11. <委員会活動等>

	内容
委員会名	事故再発防止対策委員会
頻度・時間等	毎月 第4水曜日 16時～18時
目的・内容等	事故発生防止のための指針に基づき、マニュアル作成・事故報告書の検討・職員研修等を検討・実施する。又、部署内で事故検討委員会を設置し、事故の再発防止を図る。
目標等	①介護技術の向上 ②事故の振り返りから対策の策定

	内容
委員会名	サービス向上委員会
頻度・時間等	毎月 第3水曜日 17時～18時
目的・内容等	大慈園のサービスに関する、苦情処理・食事・入浴・排泄・看取り等の検討及びアンケート調査・研修を通じて職員の資質向上を図る。
目標等	①ご家族の言葉・思いの収集 ②「苦情・相談対処報告書」の提出件数の増加

	内容
委員会名	感染症防止対策委員会
頻度・時間等	毎月 第3水曜日 16時～18時
目的・内容等	感染症・食中毒の予防・まん延防止に関する指針に基づき、マニュアルの見直し・標準予防策・職員研修等を検討・実施する。
目標等	①マニュアルの見直し ②マニュアルの周知

	内容
委員会名	非常災害時対策委員会
頻度・時間等	毎月 第2水曜日 16時～18時
目的・内容等	非常災害時（地震、火災等）に対する防災意識向上や警戒発令時の敏速な対応等、総合的な推進を図り、被害の軽減を図る。
目標等	①毎月1回訓練を実施。総合避難訓練は年2回実施し、内1回は夜間想定で実施する。 ②災害時マニュアルを作成する

	内容
委員会名	行事・給食委員会
頻度・時間等	毎月 第1水曜日 16時～18時
目的・内容等	行事：施設全体で行う行事の計画及び実行を行う。 給食：栄養科が中心となり、各部署の食事係が食事形態等について協議する。
目標等	①食事行事を通じ、生活の満足度を上げる。 ②アセスメントシートを活用し、多職種で取り組む。 ③食事行事を通じ、ゲストの状態を把握する。

	内容
委員会名	看取り介護委員会
頻度・時間等	毎月第3月曜日 16時～17時
目的・内容等	看取り介護においての、カンファレンスや知識向上を行い、理念である「当たり前のあるがままの生活、我が家のような生活」ができる様環境作りを行う。
目標等	人生最期の時を安らかに迎えらるよう尊厳を守り本人の生き方を尊重したエンドオブライフケアを実践する。

	内容
委員会名	褥瘡防止委員会
頻度・時間等	毎月 第3月曜日 17時～18時
目的・内容等	褥瘡や表皮剥離等の原因分析及び対策を検討し、職員の資質向上を図る。
目標等	発生件数0件を目指す。 ・褥瘡ケア計画に基づくチームケアの実践ができる ・発赤程度で早期発見できるチーム作り

12. 《職員会議等》

頻度	会議名			
月1回	正副施設長会議	主任会議	フロア会議	智音会議
随時	ケアカンファレンス			

13. 《苦情処理》

各部署に担当者を明記し随時受け付け口頭・書面で上司へ報告し敏速で確実な対応を行う。

14. 《月行事予定》

月行事	頻度
理髪	毎月1回
音楽レクリエーション	毎月1回
ビデオ上映会、カラオケ、嚙下体操等、ラジオ体操、ボール運動、園庭散歩	随時

15. 《年間行事予定》

月	年間行事	月	年間行事
4月	お花見	12月	忘年会
5月	母の日		クリスマス
6月	父の日		餅つき
7月	七夕	1月	元旦
8月	園庭花火		初詣
9月	敬老の日	2月	節分
10月	ハロウィン	3月	ひな祭り
11月	秋祭り		

16. 《職員配置》ショートを含む定員80名

施設長	副施設長	生活相談員	機能回復訓練士	介護支援専門員
1名	1名	2名	1名	1名
看護職員	管理栄養士	介護職員(常勤)		
3名	2名	37名		